

情報名:ミラノ 2K・M 淡色系メタリックの塗装仕様

最近、淡色系メタリックの補修塗装で、メタルムラ・ポカシ塗装時にポカシ際が黒くなる等の問題が多く発生しています。

このような問題の解決策として、下記の仕様書を参照下さい。

一方、シルバーメタリックでも透けている塗色が多く、調色作業・補修塗装が難しくなっています。

トラブルの少ない補修塗装をするため、塗装工程を再度見直してみましょう。

◆ 各塗料の調合

①アンダークリヤーの調合

ミキシングクリヤー	100
1ランク遅いリアクター	150
	<hr/>
	250

※ リアクターの希釈が少ないと、ミストのナジミ効果は高くなるが、メタルの戻しムラが出易くなります。

②メタリックの調合

メタリック塗色	100
リアクター	100~130
	<hr/>
	200~230

※ ミストのナジミが悪い場合は、遅めのリアクターをご使用下さい。

※ 2コート用クリヤーをアンダークリヤーとして使用する場合は、アンダークリヤーの乾燥状態・膜厚等によりメタルの戻しムラ・アルミの目が変わる・色相が変わる等の問題が起こることがあります。ご注意下さい。

③クリヤーの調合

※ 各クリヤーの仕様書に準ずる。

◆ ブロック塗装

- ※ 交換パーツを含む塗装の場合は、調色時作成した塗板で色相を確認しながら塗装して下さい。
- ※ トマリの悪い塗色の場合は、先に下塗り色を塗り、その上から塗装間隔を充分取りながら塗り重ねて下さい。
- ※ 被塗物の一部にプラサフ等が塗られている場合は、まずプラサフの上を1～2回塗り3分程乾燥させてから、全体を塗装して下さい。
- ※ 下記の塗装工程でもメタルムラが発生する場合は、計量調色の時点でミキシングクリヤーを10～30%程混合して調色して下さい。(参考 0714・0711 を中心に使っている塗色)

①捨て吹き塗装

- 塗装面全体を、薄く均一な塗膜に仕上がるように塗装する。
(塗膜のハジキ確認・次に塗る塗膜のタレ防止が目的)

②色決め塗装

- 塗装面全体に、ツヤがでるように2～3回程塗装して下さい。
メタリックの塗装は、塗装間隔を充分取りながら塗り重ねて下さい。
- この工程での塗り込みが少ないと、次のムラ消し工程のミストのナジミが悪くなり、吹きムラ発生
の原因となります。

③ムラ消し塗装

- ムラ消し塗装は、色決め塗膜全体が指触乾燥してから、色決め塗装より10cm程ガン距離を離して、色決め塗装と同じパターン重ねで1～2回塗装して下さい。
- ムラ消し塗装が終わった時点で、3分ツヤ程度になるように仕上げして下さい。

④クリヤー塗装

- メタリック塗装からクリヤー塗装までのセッティングは、5～10分間置いて下さい。
- クリヤーの塗装は、各クリヤーのマニュアルを参照下さい。

⑤乾燥

- 各クリヤーのマニュアルを参照下さい。

◆ ボカシ塗装 No. 1

※ アンダークリヤーの必要性

淡色系メタリックは、濃色系メタに比べて乾燥が速くなっています。

その為、ボカシ塗装時の膜厚差(厚い部分と薄い部分で乾燥の差が発生)により、アルミの並びが変わり、ボカシ際のがサツキ・ボカシ際のキラツキ・ボカシ際の黒ずみという現象が発生します。

この現象を防止する対策がアンダークリヤーの使用になります。

メタリックを塗る前にアンダークリヤーを塗装し、その上からメタリックを塗装すると、ボカシ際の乾燥が遅くなりナジミが良くなる為、アルミの並びが均一化されて問題解決につながります。

①アンダークリヤーの塗装

- 調合済みアンダークリヤーを、メタリックのボカシ予定部を2～3回程塗装する。
アンダークリヤーは、塗膜全体にツヤがあり塗り肌がないように塗装して下さい。
- アンダークリヤーを塗装したら、直ぐにメタリックの塗装が可能です。

②メタリックの色決め塗装

- 1回目は薄く捨て吹き程度塗って2回目からは5～7部ツヤ程度になるように塗り重ねて下地を隠蔽して下さい。
- 塗装時は、一度に厚塗りせず塗装間隔を充分(指触乾燥程度)取って、塗り重ねて下さい。
(塗装間隔が短いと、吹きムラ・戻しムラの原因となります。)
- メタリックを塗装する時は、一回目より二回目・二回目より三回目と少しずつ塗り広げて下さい。
(ボカシ際を同じ所で行なうミストががサツキやすく際の黒ずみにつながります。)
- ボカシ際は、出来るだけ薄くなるように塗装して下さい。
(このテクニックが、ボカシ際が目立つかどうかのポイントとなります。)

③ムラ消し及びボカシ塗装

<アンダークリヤーの塗装>

- メタリックのボカシ部を中心に、再度アンダークリヤーを塗装します。
(この時のアンダークリヤーは、3～5部ツヤに仕上がるように1～2回軽く塗装します。)
(塗りすぎると戻しムラになり易く、塗り足りない効果が弱く吹きムラになりやすいです)

<ムラ消し塗装>

- ムラ消し塗装は、色決め塗膜全体が指触乾燥してから、色決め塗装より5～10cm程ガン距離を離して、色決め塗装と同じパターン重ねて1～2回塗装して下さい。
- ムラ消し塗装が終わった時点で、3分ツヤ程度になるように仕上げして下さい。
- ムラ消し塗装では、色決め時に使った塗料(調合済み)に対して、アンダークリヤーを30%混合してムラ消し塗装を行なうと、ムラが消え易く際の黒ずみも少なくなります。

④クリヤー塗装

- メタリック塗装からクリヤー塗装までのセッティングは、5～10分間置いて下さい。
- クリヤーの塗装は、各クリヤーのマニュアルを参照下さい。

⑤乾燥

各クリヤーのマニュアルを参照下さい。

◆ ボカシ塗装 No. 2

※ アンダークリヤーを使わない塗装仕様

アンダークリヤーは、No.1 に記載したようにミストのナジミを良くして、アルミの並びを均一にするというのが使用目的ですが、アンダークリヤーを使わずに塗装したいというお客様もおられます。

アンダークリヤーを使わずにボカシ塗装をする場合は、下記の塗装仕様をご参照下さい。

①メタリックの調色

- 調合配合にて計量調色する時に、計量した塗料に対して、ミキシングクリヤーを 10～50%加えて微調色を行なう。
- ミキシングクリヤーの添加量は、調色塗料のトマリの状態によって使い分けて下さい。
特にトマリの良い塗色 30～50%
その他の悪い塗色 10～30%

②メタリックの色決め塗装

1 回目は薄く捨て吹き程度塗って 2 回目からは 5～7 部ツヤ程度になるように塗り重ねて下地を隠蔽して下さい。

- 塗装時は、一度に厚塗りせずに塗装間隔を充分(指触乾燥程度)取って、塗り重ねて下さい。(塗装間隔が短いと、吹きムラ・戻しムラの原因となります。)
- メタリックを塗装する時は、一回目より二回目・二回目より三回目と少しずつ塗り広げて下さい。(ボカシ際が同じ個所に重なると、ミストがガサツキやすく際の黒ずみがきつくなります。)

③ムラ消し塗装

- ムラ消し塗装は、色決めした塗膜全体が指触乾燥してから、色決め塗装より 5～10cm 程ガン距離を離して、色決め塗装と同じパターン重ねで 1～2 回塗装して下さい。
- ムラ消し塗装が終わった時点で、3 分ツヤ程度になるように仕上げて下さい。
- ボカシ際は、出来るだけ薄くなるように塗装して下さい。(このテクニックが、ボカシ際が目立つかどうかのポイントとなります。)

④クリヤー塗装

- メタリック塗装からクリヤー塗装までのセッティングは、5～10 分間置いて下さい。
- クリヤーの塗装は、各クリヤーのマニュアルを参照下さい。

⑤乾燥

各クリヤーのマニュアルを参照下さい。

◆ 透けている塗色の塗装

※ 淡色系メタリックが透けていたり、透けムラが出ている塗色が多く見られますが、このような塗色を補修する場合、いろいろなテクニックが必要になります。

このような上塗りの透け・透けムラを確認するためには、室内を暗くしスポットヒーター(デーライトミニ)等で照射しスカシの方向から見るとわかり易いです。

①下塗り色の調色

- 新車塗膜の上塗り塗膜を細かいペーパーで研磨して、下塗り塗膜(プラサフ面)を研ぎだす。
- ソリッド又はウルトラサフで、下塗り色を調色する。
(調色精度は近似色でよい。・・・明度が近い方がよい)

②下塗り色の塗装

- ウルトラサフは通常のプラサフとして使用する → 研磨時、下地を出さないように(上塗り前のプラサフ研磨は、#800 番程度まで細かくした方が仕上がりがよい)
- ソリッドカラー使用の場合は、通常のソリッドボカシ塗装と同様にボカシ塗装する。

③アンダークリヤーの塗装

- アンダークリヤーを、メタリックのボカシ予定部に2~3回程塗装する。
アンダークリヤーは、全体にツヤがあり塗り肌がないように塗装して下さい。
- アンダークリヤーを塗装したら、直ちにメタリックの塗装が可能です。

④メタリックの色決め塗装

- 1回目は薄く捨て吹きし、2回目からは5~7部ツヤ程度になるように塗り重ねて、下地を隠蔽して下さい。
- メタリックは、一度に厚塗りせず塗装間隔を充分(指触乾燥程度)取って、塗り重ねて下さい。
- メタリックを塗装する時は、一回目より二回目・二回目より三回目と少しずつ広げながら塗装して下さい。
- ボカシ際は、出来るだけ薄くなるように塗装して下さい。

⑤ムラ消し及びボカシ塗装

<アンダークリヤーの塗装>

- メタリックのボカシ部を中心に、再度アンダークリヤーを塗装します。
(この時のアンダークリヤーは、3~5部ツヤに仕上がるように1~2回軽く塗装します。)
(塗りすぎると戻しムラになり易く、塗り足りない効果弱く吹きムラになりやすいです)

<ムラ消し塗装>

- ムラ消し塗装は、色決め塗膜全体が指触乾燥してから、色決め塗装より5~10cm程ガン距離を離して、色決め塗装と同じパターン重ねて1~2回塗装して下さい。
- ムラ消し塗装が終わった時点で、3分ツヤ程度になるように仕上げして下さい。
- ムラ消し塗装で色決め時に使った塗料(調合済み)に対して、アンダークリヤーを30%混合してムラ消し塗装を行なうと、ムラが消え易く際の黒ずみも少なくなります。

⑥クリヤー塗装

- メタリック塗装からクリヤー塗装までのセッティングは、5～10 分間置いて下さい。
- クリヤーの塗装は、各クリヤーのマニュアルを参照下さい。

⑦乾燥

各クリヤーのマニュアルを参照下さい。